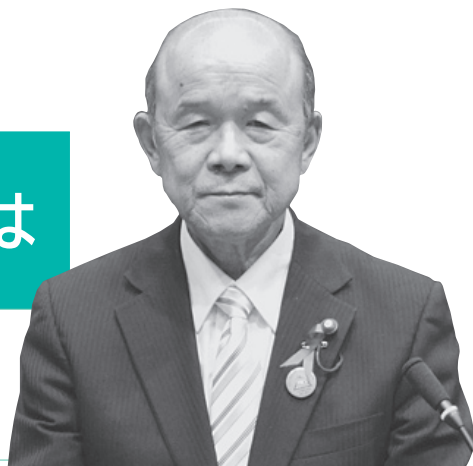




議員 糸原 壽之 いとはら としゆき

質問

今後の観光振興コンセプトは

町長

地域のつながりや結びつきで



たたらの町を象徴する「奥出雲たたらと刀剣館」

質問 今春から秋までの観光シーズンの蕎麦店、博物館、自然公園、温泉施設、農泊施設等への観光入込み客数はそれぞれいくつであったか。

定住産業課長 4月から10月までが入込み客は博物館等へは34,494人、自然公園等は88,68

7人、温泉施設利用は68,473人で農泊者数は61人、蕎麦店利用者数は把握していない。

質問 次期の観光入込み客数の設定目標は。

町長 次期の入込み客数は、以前、トロツコ列車やVIVANT

の効果で、年間90万人を超える入込み客を記録した。それを目指したいが、まずは継続的に滞在時間や消費額宿泊等を増やして、地域経済の活性化につなげていく。

質問 目標達成のための手立てはあるか。

町長 世界農業遺産の認定で、本町に多くの利点と波及効果がもたらされ、本町が進んで行く方向がある程度できた。

たたらから循環型農業、それらが観光としていろいろなところへ続くルールができており、これを手立ての基本として進める。

質問 観光を推進するためのコンセプトを持つているか。

町長 奥出雲町の魅力であるたたらから来る地域のつながりや結びつきをコンセプトとしていく。

参加出荷奨励事業の推進は

質問 9月定例会の一般質問において、町内産直市場への参加出荷奨励のため、JAと共同したポイント制を導入しないかと質問した。

それに対して町は、奥出雲産直振興推進協議会の事務局であるJA雲南へ提案してみることだつた。

法で生産者へは支援をしている。のとことであった。

町としては、生産意欲に繋がる取組みを引き続き要望していく。

町長 JAしまね雲南地区本部へ提案したが、財源確保のため現時点では難しい。ポイントではないが他の方



活気ある生鮮品が並ぶ産直市場